

わたしたちの意見を市政に

牛久市小学生模擬議会

8月21日、市議会議場で「平成25年度牛久市小学生模擬議会」を開催しました。この模擬議会は、牛久市の将来を担う小学生に、地方自治の仕組みや市の政策決定過程、市議会の運営方法などを理解してもらい、牛久市のまちづくりへの参画意識を持つってもらうとともに、優れた意見や要望を市政に反映させるため行っています。市内各小学校の5・6年生16人が参加し、市政に対し新鮮味あふれるさまざまな質問が出され、市執行部も定例議会同様に熱心に答弁しました。



中山楓雅さん(岡田小 6年)：バイオディーゼル車について
市長 市では、地

域で資源が循環する仕組みを作るため、さまざまな取り組みを進めています。その中の1つが、てんぷら油など廃食用油を原料に使ったバイオディーゼル燃料(BDF)の製造事業です。このBDF燃料は現在、牛久市、阿見町、龍ヶ崎市、土浦市の公用車など37台に使われ、牛久市のコミュニティバスかつば号や土浦市のキララちゃん号にも使用されています。



藤井絢さん(岡田小 6年)：エネルギー対策について
市長 市では小中

学校などの公共施設で、太陽光発電に

より電力の補充を行ったり、家庭や給食で不要となった使用後の「てんぷら油」を、BDF燃料に加工し、市の公用車や送迎バスに再利用するなど、エネルギーの地産地消に努めています。このような取り組みを「緑のカーテン」と合わせて実施することでさらに効果が上っています。また、冬の節電として今年2月には薪ストーブを導入し、間伐材などの薪をリサイクル燃料として活用しています。



佐野泰笙さん(牛久小 6年)：他校との交流について
教育長 一昨年の

サイエンスフェスタでは、「スカイプ」を使い、牛久市の小学生と直線距離で1900km離れた沖縄県宮古島の小学生が交流しました。その他にも、学校の電子メール、ビデオレター、ホーム

ページを利用して他の学校の友達と情報やり取りをするといった交流方法もあります。



山岡蓮さん(奥野小 6年)：かつば号について
市長 バスは人口が

密集する地域で運行し、バスを走らせても効率的でない地域では、乗る人がいるときにだけ運行するデマンド型といわれる方法での交通手段確保を計画しています。奥野地区は、人口が散らばっていることから、デマンド型の交通手段の充実を目指していく計画です。



宮澤沙綾さん(牛久小 6年)：児童クラブについて
教育長 児童クラブ

は、両親が1週間に2日以上働いていたり入院している場合など、放課後に保護者が家にはいない児童を対象としています。今後は、これまでの利用条件を見直し、一日だけの利用の場合でも、皆さんが必要な時に利用できるよう、受け入れ体制を整えながら、実施に向けて検討していきたいと考えています。



松本みず穂さん(奥野小 6年)：放射能対策について
市長 市では、昨

年、4歳から高校3年生までを対象に、内部被ばく検査を行い、これまでに7468人が検査を受け、放射性セシウムが検出された人は一人もいませんでした。また、ひたち野東3丁目モデル地区として行った住宅除染では、基準を超えた3軒の住宅で、雨どいの下など4箇所の除染作業を行いました。今後住宅の除染対象地域を広げ、安心して暮らせる環境を確保していきます。



斉藤圭祐さん(牛久第二小 6年)：学校の設備について
教育長 市では、既

に4つの小中学校に太陽光発電を導入しており、これからも太陽光発電の導入を進めていく計画です。太陽光発電以外にも環境に配慮した学校づくりを進めていて、学校の新築・改修の際、廊下や教室に茨城県産の木材を使用しました。また、学校のグラウンドの芝生化や照明を省エネになるLED照明にしたりしています。



多田光一さん(向台小 6年)：登下校の安全確保について
市長 市では路面標

示や警戒標識と呼ばれる道路標識を立てたり、見通しの悪い交差点にはカーブミラーを設置したり、たくさんの人

が信号待ちをするような交差点には、万一の自動車の飛び込みから歩行者を守るために金属製のガードパイプを設置しています。また、防犯サポーターによる防犯パトロールに加え、警察や地域の見守り隊をはじめとする各関係機関・団体との連携を図りながら、登下校時の安全確保に努めます。



今井敬太さん(中根小6年)……高齢者支援について
市長 市では65歳以上の方を対象に「介護予防事業」を行っています。「元氣教室」、「体力アップ教室」や牛久市独自の転倒予防体操「うしかくつばつ体操」を市内各地域で行うとともに、医療費を抑制するために健康診断の検査項目の充実を図ったり、予防接種の助成など医療・介護と連携した健康づくりを目指しています。その他、8つの小学校を中心に「地区社協」を設立して、地域のつながりを再構築し、地域住民主体による支えあいの活動を進めています。



吉開ひなのさん(中根小6年)……バリアフリーの取り組みについて
市長 この秋から、牛久駅東口駅前広場について、バリアフリー化の整備を進めます。この工事は

は、お年寄りや体の不自由な方、妊婦などを優先的に考え、バスやタクシーなどの公共交通を駅の入り口に一番近い場所に配置することで、車道を横断することがないようにし、かつ歩く距離を短くしています。このような取り組みを通して「誰でも、自由に、使いやすい、安全・安心」な公共スペースを目指していく計画です。



中村真瑠さん(牛久第二小6年)……学校週6日について
教育長 学校週6日

地域の三者が連携し、役割分担しながら、社会全体で子どもを育てることが大切だということです。土曜日における教育活動は、学校での授業、地域の人たちとの協力による体験学習、総合的な学習における地域学習を行う機会として活用できる方法のひとつと考え、今後は、検討チームの動向を見ながら、土曜授業を実施するかどうかも含めて検討していきます。



塚原孝太さん(向台小5年)……少子化対策について
市長 市ではこの8

年間8園の保育園を開園し、定員数は2倍以上に増加しました。その結果、今年4月時点で待機児童はゼロとなりました。児童クラブについても、土曜日の開級と時間の延長を行い、利用対象児童も小学6年生までに拡大しました。今後、牛久駅西口エスカードビル1階に民間保育園分園が平成26年2月に開園し、4月には、ひたち野うしく地区に民間保育園2園が開園する予定です。



阿部二奈さん(神谷小6年)……学校での授業スタイルについて
教育長 市では平成

17年度から市内全校で「学び合い」による授業づくりを進めてきました。「学び合い」では、友達との関わりを大切にすることで、子どもたちが支え合いながら、納得のいくまで学習を続け、力を付けることができるようにしています。「教えて」「ありがとう」の言葉をかけあう授業のおかげで、友達との仲が一層良くなり、いじめがなくなった学校もあります。



齋藤良輔さん(神谷小5年)……祭りの開催について
市長 市内最大のお

祭り「うしくかつば祭り」の他にも「うしく鯉まつり」「こども図書館まつり」など、年間を通じてさまざまな祭りが開催されています。体を動かすイベントとして

は、「牛久健康ウォーク」や「市民体育祭」などがあります。小学生の参加できるお祭りやイベントが多数開催されますので積極的にご参加ください。



柴田夏那さん(ひたち野うしく小6年)……牛久市の文化財について
教育長 国指定重要

文化財の「シャトーカミヤ旧醸造場施設」は、東日本大震災で大きな被害を受けました。そのため、国・県・市の補助の下、災害復旧工事を開始し、現在も修理を行っています。また、市の文化財を広く知っていただくため、歴史講座・出前講座の開催や「牛久市文化財ガイドブック」をホームページで公開しています。



西島直希さん(ひたち野うしく小6年)……消防について
市長 火災旋風対策

としては、「災害に強い建物づくり」があります。また、消防署・消防団の大規模火災への対応としては、人命救助を最優先にしつつ、「延焼拡大を防ぐための集中消火」を取るため、消防署では消防車やはしご車などの消防力を整備し、消防隊員の訓練を重ねています。また、皆さんの身近な大人が、自主的に消防団に入り、自分たちの地域を火災から守るため日夜活動をしています。